

防災チェックポイント

★災害時の停電に備える★

防災対策特別委員会

これだけ甚大な災害が日本全土で発生すれば決して他人事ではありません。

7月上旬の西日本豪雨、災害に匹敵する連日の酷暑、9月に徳島県南部に上陸した大型の台風21号、そして震度7を記録した北海道胆振東部地震、全てが記録的に甚大な被害をもたらした自然の猛威です。

何を備えればいいのか？災害は季節も時間も選んでくれません。頼りになるのは「備えている物」が全てです。的確な情報入手するためにも、今回はこの夏の災害を教訓に「停電」に対する備えを取り上げました。



①安心・安全のためまずは照明の確保

- ・電池式の懐中電灯は、電池・電球の予備の確保と点検を忘れずに。
- ・手回し発電式は必要に応じて利用でき、電力消費の少ないLED電球を使用したものは従来品に比べ長時間の使用が可能。
- ・首掛け式、特にヘッドライトは両手が使えるためとても便利。
- ・ろうそくは火災の原因となるため安全対策を十分に。

(地震の時は使わない)

②的確な情報入手のために

- ・ラジオがあると安心。手回し発電式のラジオもある。
- ・携帯電話、スマートフォンの充電対策は必要不可欠。
- ・モバイルバッテリー(3,000円程度)、また自動車から充電できるアダプターもあると便利。
- ・むやみに安否確認をしない。(バッテリーの消費と電波の混線をまねく)

③その他停電時の家庭内での備え

- ・調理手段としてカセットコンロは必要。
- ・暖をとるためにはファンヒーターではなく灯油ストーブを。
- ・発電機を求める方はインバーター式を。

(電圧の変化で家電製品が故障する)

- ・家庭用医療機器を使用の方は医師に相談、代替え手段を。



もしも地震や風水害で停電したら…